

鉄研通信

第 22 号

学校法人 清風学園

鉄道研究部 発行

発行日:2024・4・8

編集:鉄道研究部

中二部員

敦賀巡検

(祝 北陸新幹線敦賀延伸)

三月十六日七時〇〇分、西日本大阪駅御堂筋口に清風学園鉄道研究部と顧問合わせて十一人が集まっていました。さて、『今から何があるのでしょうか!』

部員一同はコンビニで、お菓子や飲み物を各自購入して大阪駅の八番乗り場に向かいました。電車を待っていると七時三〇分発の新快速『米原方面近江塩津行き』が入線してきました。部員一同は近江塩津まで入線してきました。電車に乗り、近江塩津駅では三番線に入線してきた九時四一分発の新快速『敦賀行き』の電車に乗りました。そして、敦賀まで行き敦賀で二班に分かれ敦賀駅を探索しました。敦賀駅にはプラレールが展示されていてとても混んでいて人気がありました。

その後に当日臨時で実験として走っていた『敦賀駅東西連絡バス』に乗り、東口に移動しました。東口は人が少なく空いている印象がありました。

部員一同が待ちに待った、北陸新幹線との対面です。新幹線ホームへの入場券を購入して期待に胸を高鳴らせて、敦賀駅の新幹線ホームへ駆けあがりました。ホームは開業当日という事もありとても混雑しており、テレビ局の方もいらっしやいました。既に北陸新幹線は入線しており、真新しい敦賀駅の建物と北陸新幹線が輝いていました。



その後改札を出て、もう一つの班と合流をして、『ぐるっと敦賀周遊バス』キップを購入し金ヶ崎緑地公園まで移動しました。金ヶ崎緑地公園で昼食をとりましたが、その際に『トンビ』の襲来に遭い、部員の昼食が奪い去られるというアクシデントもありました。

食後は敦賀鉄道資料館に移動し、トリック写真や歴史を振り返るような写真がたくさんありました。その後に、赤レンガ倉庫に移動しました。そこには往年のキハ二八系が展示されていました。

最後に赤レンガ倉庫の中に入り、昔の敦賀駅周辺を展示した巨大なNゲージがあり、敦賀駅の歴史を振り返る事が出来ました。

その後、歩いて敦賀駅に戻り、一五時二〇分発の新快速『姫路行き』に乗り、帰路につきました。

